

決算説明資料
2022年3月期 第3四半期決算
(21/4-21/12)

2022年1月31日



JSR Corporation

再掲：中期経営方針（2021年3月26日発表）

<ビジョン>

- ・持続的（Sustainable）成長を目指し、すべてのステークホルダーに価値を創造する
- ・あらゆる環境変化に適応する強靱な（Resilient）組織をつくる

<事業ポートフォリオ>

- ・デジタルソリューション事業(DS。特に半導体材料事業)、ライフサイエンス事業(LS)をコア事業とする

<ターゲット>

- ・DS&LSで25/3期に過去最高益の更新、ROE 10%以上、ROIC 最大化を目指す（DS 25%以上、LS 12%以上）
- ・資本配分は事業投資を最優先。株主還元は50%程度をガイドラインとする

<事業戦略>

■デジタルソリューション事業

- ・半導体材料:CAGR 8%以上(シリコンウエハー面積市場成長の倍)。M&Aを含めた事業規模・分野の拡大。
- ・ディスプレイ材料:選択と集中によるキャッシュカウ化、緩やかな利益成長。エッジコンピューティングは売上成長加速。

■ライフサイエンス事業

- ・売上高 1,000億円超、ROS 20%を達成。
- ・CDMO, CRO中心としたパイプライン拡大による売上成長の加速。グループ全体のシナジー強化により持続的成長を実現。

■石化系事業（エラストマー事業、ABS事業）

- ・エラストマー事業の構造改革を推進。

決算のポイント

<2022年3月期第3四半期累計実績>

- ・第3四半期累計実績は、ほぼ計画並みに進捗。対前年で高い伸び率を達成した。
- ・第3四半期のコア営業利益にはInpria Corporationの完全子会社化による評価益75億円を含む。

<デジタルソリューション事業>

- ・半導体材料はYoY+17%の売上成長を達成。EUVレジストはほぼ倍の成長。QoQでも+9%と各製品順調に販売を伸ばした。
- ・ディスプレイ材料は中国向け拡販により計画並みの進捗となったが、3Qはパネルメーカーの稼働調整の影響を受けた。
- ・半導体材料需要は引き続き堅調を見込む。来期に向けても市場を上回る成長を達成する。
併せてInpriaの統合作業を開始。今期業績から一部シナジー効果を見込む。

<ライフサイエンス事業>

- ・YoY+32%と強い売上成長を達成。CROはがん領域の先端スクリーニングモデルで成長加速。BPM*もパイプラインが拡大し好調。
- ・QoQではCDMOが売上拡大し利益改善へ貢献。CDMOは大型先行投資の立ち上げ局面を迎える。4Q頭より試運転を開始済み。
- ・来期に向けて引き続き事業全体で強い成長を見込む。欧米でのCDMO新設備の量産立ち上げを進めていく。

<エラストマー事業構造改革・その他>

- ・21年5月にエラストマー事業の事業譲渡契約を発表。今期より当事業を非継続事業へ分類。クロージングへ向け移管プロセス遂行中。
- ・Inpriaは11月より100%連結化。買収に伴う既存持ち分の再評価益を3Qに計上。併せてPPAを行っており無形資産償却費を4Qに反映させる。

*バイオプロセス材料

決算ハイライト 1 - 21Q3累計実績 実績vs計画

(億円)

		21Q3 YtD	FY21 Pro (as of Nov.8)	Progress
連結	売上収益	2,566	3,465	74%
	コア営業利益	423	525	81%
	営業利益	421	523	80%
	親会社所有者帰属利益	354	355	100%
デジタルソリューション	売上収益	1,233	1,645	75%
	半導体材料	820	1,090	75%
	ディスプレイ材料	346	460	75%
	エッジコンピューティング	66	95	70%
	コア営業利益	363	445	82%
	(Inpria買収効果除くコア営業利益*)	289	385	75%
ライフサイエンス	売上収益	533	720	74%
	コア営業利益	38	60	64%
合成樹脂	売上収益	707	980	72%
	コア営業利益	51	65	78%
その他・調整額	売上収益	93	120	78%
	コア営業利益	-29	-45	-
Exchange rate (USD/JPY)		111	110	

* Inpria買収効果は再評価益、100%連結化による損益取込、PPAの無形資産償却を合わせて+60億円を計画に織り込んでいる。

※コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益(非経常項目)を除いて算出
 ※親会社所有者帰属利益を除き継続事業のみ表示

- ・計画に対して売上収益、コア営業利益ともに順調に進捗。
- ・デジタルソリューション事業：半導体材料、ディスプレイ材料の売上は計画線に進捗。コア営業利益もInpriaの要因を除きほぼ計画並み。
- ・ライフサイエンス事業：売上は計画並み。コア営業利益は通期計画対比若干進捗率が低いも、計画では下期の成長を織り込んでいる。
- ・合成樹脂事業：ほぼ計画並み。

決算ハイライト 2 – YoY, QoQ

(億円)

		20Q3ytd	21Q3ytd	YoY	21Q2	21Q3	QoQ
連結	売上収益	2,237	2,566	+15%	859	884	+3%
	コア営業利益	292	423	+45%	105	192	+83%
	営業利益	266	421	+58%	117	192	+64%
	親会社所有者帰属利益	67	354	+430%	94	178	+90%
デジタルソリューション	売上収益	1,121	1,233	+10%	413	427	+3%
	コア営業利益	267	363	+36%	91	167	+83%
ライフサイエンス	売上収益	404	533	+32%	174	196	+13%
	コア営業利益	29	38	+30%	8	19	+149%
合成樹脂	売上収益	551	707	+28%	240	229	-5%
	コア営業利益	25	51	+102%	16	16	+0%
その他・調整額	売上収益	162	93	-42%	32	32	+0%
	コア営業利益	-29	-29	-	-10	-10	-

※親会社所有者帰属利益を除き継続事業のみ表示

YoY : 増収増益

デジタルソリューション : 半導体材料を中心とした売上増加により増収増益。

ライフサイエンス : 主にCRO、BPM事業で売上収益が拡大し、増益となった。

合成樹脂 : コロナ影響からの需要回復を受け販売数量増加し、増収増益。

QoQ : 増収増益

デジタルソリューション : 半導体材料の好調により増収増益を牽引。

ライフサイエンス : CDMOが売上拡大。全体の利益率改善。

合成樹脂 : 自動車減産の影響で販売減も、利益は横ばい。

通期予想<変更なし 11月8日改定>

<2021年11月8日改定値>

(億円)

		FY20 Act	FY21 Pro (as of Nov.8)	YoY
連結	売上収益	3,120	3,465	+11%
	コア営業利益	379	525	+39%
	営業利益	342	523	+53%
	親会社所有者帰属利益	-552	355	-
デジタルソリューション	売上収益	1,514	1,645	+9%
	半導体材料	949	1,090	+15%
	ディスプレイ材料	474	460	-3%
	エッジコンピューティング	92	95	+3%
	コア営業利益	346	445	+29%
ライフサイエンス	売上収益	552	720	+30%
	コア営業利益	35	60	+71%
合成樹脂	売上収益	791	980	+24%
	コア営業利益	44	65	+47%
その他・調整額	売上収益	263	120	-54%
	コア営業利益	-46	-45	-

Exchange rate (USD/JPY)	106	110	+4%
-------------------------	-----	-----	-----

減価償却費	164	200	+22%
資本的支出	402	380	-5%
研究開発費	221	245	+11%

今後の見通し

■デジタルソリューション事業

ー 半導体

4Q及び来期に向けて半導体材料需要は好調が続く。当社のEUV販売も成長継続。Inpriaの統合効果は中長期テーマであるも、当期から売上貢献の見通し。

ー ディ스플레이材料

パネル市況悪化により3Qに顧客業界の稼働調整あり。4Qも同様の稼働となる見通し。中国向け配向膜、絶縁膜の展開は確実に進む。

ー エッジコンピューティング

スマートフォン出荷台数減の影響を受け、前年度並の売上に留まる見通し。

■ライフサイエンス事業

売上成長につながるパイプラインは順調に拡大。CDMOは4Q頭に北米新設備の試運転開始。22年度の1Qにかけて量産立ち上げを見込む。

■合成樹脂事業

3Qの自動車減産影響から徐々に回復を見込む。一方販売価格フォーマチュラを改定するも、原料価格も同様に上昇傾向が続いている。

*IFRS16号によるリース資産償却を含まず

※親会社所有者帰属利益を除き継続事業のみ表示

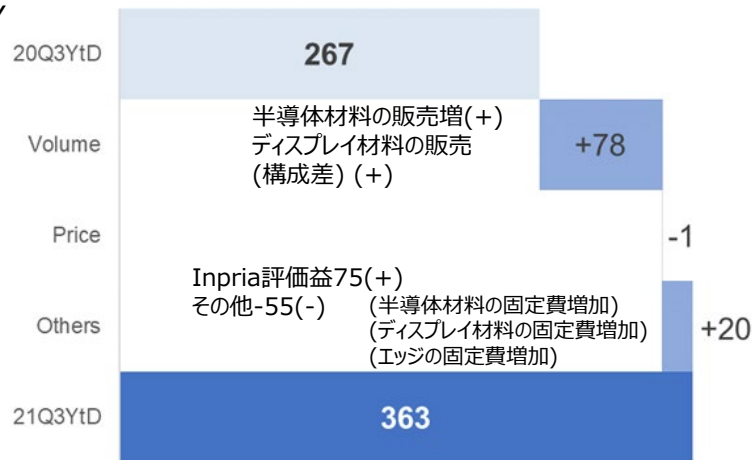
セグメント別損益：デジタルソリューション事業

(億円)

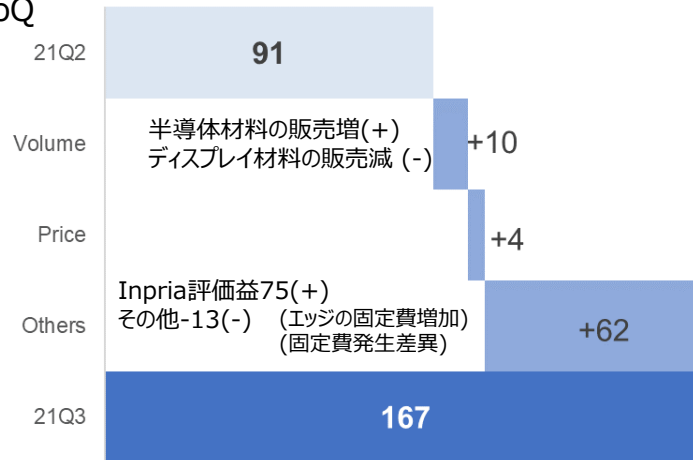
	20Q3ytd	21Q3ytd	YoY	21Q2	21Q3	QoQ
売上収益	1,121	1,233	+10%	413	427	+3%
半導体材料	700	820	+17%	268	292	+9%
ディスプレイ材料	353	346	-2%	125	110	-12%
エッジコンピューティング	68	66	-3%	21	25	+20%
コア営業利益	267	363	+36%	91	167	+83%
コア営業利益率	23.8%	29.5%		22.1%	39.2%	
Exchange rate (USD/JPY)	106	111	+5%	110	114	+3%

コア営業利益差異分析(億円)

YoY



QoQ



Appendix : デジタルソリューション事業 主要製品売上推移

SEMI	YoY ytd	QoQ
ArF	105%程度	105%程度
多層材料	115%程度	105%強
その他リソグラフィ材料	135%程度	105%程度
CMP材料	110%程度	110%弱
洗浄剤	115%程度	140%強
実装材料	115%程度	95%程度
※EUVレジストはその他リソグラフィ材料に含む		
Display	YoY ytd	QoQ
配向膜	105%弱	85%程度
絶縁膜	120%程度	110%程度
着色レジスト	75%程度	80%程度
その他LCD材料	横ばい	105%強
Edge	YoY ytd	QoQ
ARTON	95%程度	115%強

セグメント別損益：ライフサイエンス事業

(億円)

	20Q3ytd	21Q3ytd	YoY	21Q2	21Q3	QoQ
売上収益	404	533	+32%	174	196	+13%
コア営業利益	29	38	+30%	8	19	+149%
コア営業利益率	7.3%	7.2%		4.4%	9.7%	
Exchange rate (USD/JPY)	106	111	+5%	110	114	+3%

コア営業利益差異分析

YoY

	売上収益	コア営業利益
Total	+32%	+30%
CDMO	+25%程度	減益
CRO	+45%弱	増益
BPM*	+150%程度	増益
IVD	+20%程度	増益

QoQ

	売上収益	コア営業利益
Total	+13%	+149%
CDMO	+30%強	増益
CRO	+15%弱	増益
BPM*	-70%弱	減益
IVD	+10%程度	増益

*バイオプロセス材料

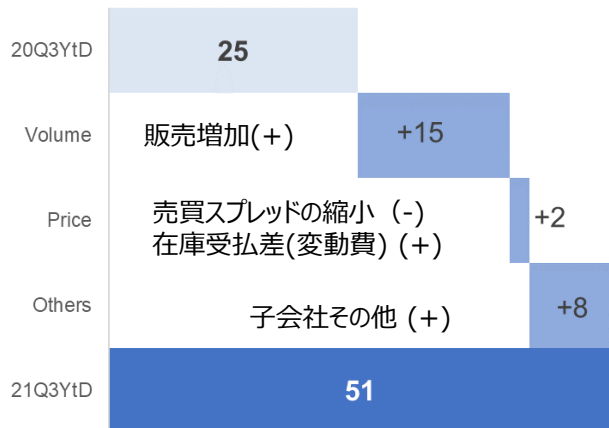
セグメント別損益：合成樹脂事業

(億円)

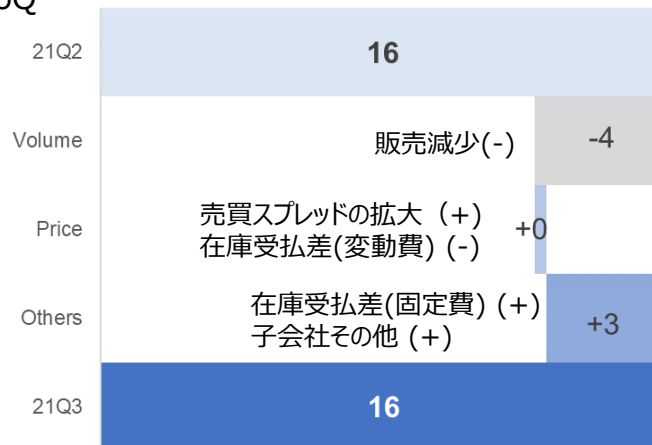
	20Q3ytd	21Q3ytd	YoY	21Q2	21Q3	QoQ
売上収益	551	707	+28%	240	229	-5%
コア営業利益	25	51	+102%	16	16	+0%
コア営業利益率	4.5%	7.1%		6.6%	7.0%	
Exchange rate (USD/JPY)	106	111	+5%	110	114	+3%

コア営業利益差異分析(億円)

YoY



QoQ



エラストマー事業構造改革

- ✓ 2021年5月11日にエラストマー事業のENEOS株式会社への事業譲渡を発表。事業譲渡の前提となる企業価値は1,150億円。又同日に持分法適用会社の錦湖ポリケム社株式のKumho Petrochemical. Co. Ltd.への売却を発表。全エラストマー事業を当社から分離することになり、エラストマー事業を会計上非継続事業へ分類した。
- ✓ エラストマー事業譲渡については2022年4月1日のクロージングに向け、移管プロセスを進行中。

エラストマー事業からの損益内訳

(億円)

	20Q3Ytd Act	21Q3Ytd Act	FY21 Rev Pro
売上収益	931	1,348	1,720
コア営業利益 (相当)	-127	101	120
構造改革費用および税等	15	-64	-
非継続事業からの当期利益	-112	37	0(仮)

- ✓ 21年度第3四半期累計 販売数量はYoYで+20%拡大。タイヤ市場の回復。SSBRの伸長。コア営業利益 (相当) は、上記数量効果に加え、スプレッドの改善、コスト削減により増加。
- ✓ QoQでも売上収益・コア営業利益 (相当) とも拡大。
- ✓ 構造改革関連費用は、エラストマー事業譲渡契約に基づく減損、コンサルティング、資産分割費用等を計上。最終的には22年3月時点のB/Sの影響を受ける。
- ✓ 現時点では、これらを総合し非継続事業の当期利益見通しは一旦ゼロで置いている。

資本配分方針

21/3Eから21/12EへのBS変化

(億円)

	21/3E	21/12E	+/-
流動資産	3,293	2,317	-976
現金及び現金同等物	854	520	-334
その他	2,439	1,797	-642
非流動資産	3,435	3,558	+123
継続事業 小計	6,728	5,875	
売却目的保有に分類される処分グループに係る資産		1,738	+1,738
資産 合計	6,728	7,613	+885
社債及び借入金	1,193	899	-294
その他負債	1,828	1,431	-397
継続事業 小計	3,020	2,330	
売却目的保有に分類される処分グループに係る負債		1,264	+1,264
負債 合計	3,020	3,594	+574
親会社の所有者に帰属する持分	3,340	3,643	+303
非支配持分	367	376	+8
資本 合計	3,707	4,018	+311

21/3Eから21/12EまでのNet cashの動き

- エラストマー事業の売却目的保有への分類。
- 錦湖ポリケム株式及び政策保有株式の売却により約200億円の現金収入あり。
- Inpriaの買収対価約467億円の支払。
- 21/12Eの正味現金は約-380億円（継続事業）

今後の見通し

- 継続事業からのFCF
- 22年度前半には、22年4月1日のエラストマー事業売却に伴う売却代金の収入が発生する見通し。

資本配分の基本方針

1. M&Aを含めた成長のための事業投資（半導体材料、ライフサイエンス中心）
2. 事業投資に柔軟に対応できる強靱な財務ポジションの維持
3. 50%程度を目安とした株主還元

今後の資本配分について

- 今年度配当を10円増配（中間配当は実施済）。
- 安定的な財務ポジションは維持されており、今後も左記の資本配分の基本方針の遂行に問題はなし。

【APPENDIX】連結損益計算書

(億円)

	20Q3 ytd	21Q3 ytd	YoY
売上収益	2,237	2,566	+15%
売上原価	1,397	1,593	+14%
売上総利益	841	973	+16%
販管費	549	628	+14%
その他の営業収益/費用	-26	75	-
持分法による投資損益	-1	-0	-
営業利益	266	421	+58%
金融収支	-26	10	-
法人所得税	61	94	+55%
継続事業からの当期利益	179	337	+88%
非継続事業からの当期利益	-112	37	-
当期利益	67	374	+454%
親会社所有者帰属	67	354	+430%
非支配持分	1	20	+2,619%

EPS(JPY)	31.07	164.52	+430%
EPS - 継続事業 (JPY)	78.82	146.80	+86%
EPS - 非継続事業 (JPY)	-47.75	17.72	-

Exchange rate(USD/JPY)	106	111	+5%
------------------------	-----	-----	-----

コア営業利益から営業利益までの調整

(億円)

	20Q3 ytd	21Q3 ytd
コア営業利益	292	423
減損損失戻入	-	12
事業構造改革費用	-24	-
子会社出資金評価損	-	-14
割増退職金	-2	-
その他	-	0
営業利益	266	421

【APPENDIX】連結財政状態計算書

	21/3E	21/12E	+/-	(億円)
流動資産	3,293	4,054	+762	
現金及び現金同等物	854	520	-334	
営業債権及びその他の債権	1,253	778	-475	
棚卸資産	1,049	857	-192	
その他	137	163	+25	
売却目的保有に分類される処分グループに係る資産		1,738	+1,738	
非流動資産	3,435	3,558	+123	
有形固定資産	1,704	1,547	-157	
のれん	586	1,178	+592	
その他の無形資産	150	147	-3	
その他	994	686	-308	
資産 合計	6,728	7,613	+885	
流動負債	1,688	2,641	+953	
営業債務及びその他の債務	1,008	655	-353	
借入金	379	413	+34	
その他	301	309	+8	
売却目的保有に分類される処分グループに係る負債		1,264	+1,264	
非流動負債	1,332	953	-380	
社債及び借入金	814	486	-328	
その他	518	466	-52	
負債 合計	3,020	3,594	+574	
親会社の所有者に帰属する持分	3,340	3,643	+303	
非支配持分	367	376	+8	
資本 合計	3,707	4,018	+311	

自己資本比率
(親会社所有者持分比率)
2021/12 E : 47.9%
2021/3 E : 49.6%

※継続、非継続両事業を表示

【APPENDIX】四半期推移

(億円)

		20Q1	20Q2	20Q3	20Q4	21Q1	21Q2	21Q3
連結	売上収益	675	717	845	883	823	859	884
	コア営業利益	80	86	125	87	126	105	192
	営業利益	80	62	123	77	111	117	192
	親会社所有者帰属利益	11	-18	73	-618	82	94	178
デジタルソリューション	売上収益	363	374	384	393	393	413	427
	半導体材料	238	229	233	248	261	268	292
	ディスプレイ材料	109	118	126	121	111	125	110
	エッジコンピューティング	16	27	25	24	21	21	25
	コア営業利益	78	91	97	79	104	91	167
ライフサイエンス	売上収益	126	135	142	148	163	174	196
	コア営業利益	8	8	13	6	12	8	19
合成樹脂	売上収益	162	164	225	241	238	240	229
	コア営業利益	5	2	18	19	19	16	16
その他・調整額	売上収益	24	43	95	101	29	32	32
	コア営業利益	-11	-15	-4	-17	-9	-10	-10
Exchange rate (USD/JPY)		108	106	105	106	109	110	114

※コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益(非経常項目)を除いて算出

※親会社所有者帰属利益を除き継続事業のみ表示

【APPENDIX】IRカレンダー

FY21
決算発表

2022年4月25日
同日、金融機関向け説明会を実施予定

経営方針説明会

2022年5月 (予定)

・本資料に記載されております業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいております。
実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。